



次世代につなぐ レガシーのバトン ～地域活性化とスポーツの可能性～

東京2020オリンピック 聖火ランナー

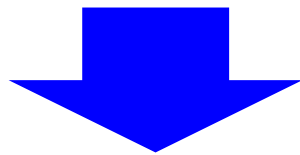
青梅市小曾木在住 **若林 良弘**



東京2020オリンピック聖火ランナーに応募 ➡ 選出される
1年延期、瑞穂ビューパークでトーチキスに

聖火ランナーに応募したのは？

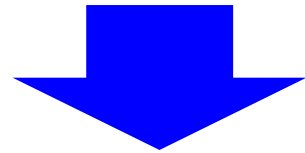
- 聖火ランナー選定は応募式(選定の考え方に)
- 全ての人を対象で、様々なバランスに配慮し、地域で活動している人を中心に選定
- お互い支え合って、あきらめずにどんな困難にも立ち向かう人・・・などが目に留まった



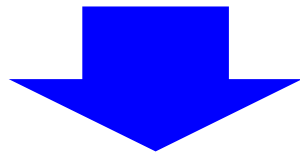
仲間と一緒に走って、楽しみ、地域PRをしたい
(きっと通る。終わったらみんなでもた飲める！)

応募は？

在住の都道府県委員会、または、
聖火リレープレゼンティングパートナー4社(複数可)



1,000文字ほどに**思い**を込めて活動内容記載



結果、トヨタに採用、トーチもいただいた(7万円)

思いを込めた地域活動をこの後、ご紹介します

トーチキスポーズは
パートナーとの相談で



お台場に設置された聖火台にも早朝に 現地ではミニ撮影会



青梅市民は少なそう そんな中、六中壩水尾元校長・市川前校長も



高尾山頂の五輪マークにも早朝に





小曾木市民センターでも展示&撮影会
おそきの学校と地域を考える会主催
10年前より活動開始、若林が副会長・事務局長



七小でもさわれる展示

なぜ、地域活動・まちづくりに？



昭和39年、青梅総合病院で
生まれ、小曾木地区で育つ

七小（旧校舎）入学

小学3年時に父親が仕事
中の事故で急死
約1か月学校に行けなくな
りながらも、親類や近隣の
支えで復帰



七小現校舎卒業



小曾木保育園（旧第1園舎）
に入園・卒園



なぜ、地域活動・まちづくりに？



六中（旧校舎）入学



六中現校舎卒業



六中では
バスケット部
青梅市優勝



高校では男子
ソフトテニス部

なぜ、地域活動・まちづくりに？



高校卒業後はトヨタ東京
自動車大学校へ入学
学生時は硬式テニス部
卒業後はそのまま就職
その後、教員となる
現在、学生部長
愛車はプリウスPHV GRS

現在、
テニス部顧問
手話サークル顧問



教育という仕事

- 学生の未来に関われる楽しさ、大変さ、気持ちを伝えるコツ
- 国家1級自動車整備士第1号(試験初年度333名)
- 自動車を通じたまちづくり(移動の自由、MaaS、災害対応)

なぜ、地域活動・まちづくりに？

20～30代の約20年間に障がい者福祉ボランティア



八王子手話サークル
桑の実会に約20年間。
幸せについて学んだ。
会員180名のサークル会長まで



第12回 八王子手話まつり 平成10年11月8日



なぜ、地域活動・まちづくりに？ 26～40歳の14年間で分団長（小曾木地区責任者）まで



訓練や災害出場
分団を担当した4年間は、
月1回、仕事を早退して
市役所での会議に出席
(消防署も同席)

土砂崩れ現場への出場



娘も消防少年団員



なぜ、地域活動・まちづくりに？

体力に恵まれ、努力も



青梅マラソン
20代から出場中



ハセツネ72キロ大会
奥多摩山中3回完走

富士五湖100キロマラソン挑戦12時間台で完走



なぜ、地域活動・まちづくりに？

テニス仲間は楽しい飲み仲間！



就職後は職場でのテニス部と
青梅市テニス協会に



ここ10年程、役員担当
現在は理事長



数年前の合宿テニス協会合宿

なぜ、地域活動・まちづくりに？

子どもから高齢の方まで楽しめるテニス

2022年青梅スタジアムテニスコート5面化オープンイベント開催



オリンピック・パラリンピックジュニア育成事業



なぜ、地域活動・まちづくりに？



防災力向上に七小・六中屋上ヘリサイン



なぜ、地域活動・まちづくりに？

消防団分団長の経験を防災士に活かして活動



《命を守るための避難》 大雨時の避難の流れ

- 事前確認**
- ①自宅が大雨時に避難が必要な場所（該当区域）なのか確認
 - ・土砂災害警戒区域（イエローゾーン）・特別警戒区域（レッドゾーン）・浸水予想区域に居住している場合は避難が必要 → **該当区域**
 - ②該当区域でない方は、親戚や近隣の方の避難受け入れの検討を！

1 警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら！

- ・小管木地区の場合には、早い時期の避難（警戒レベル3での自主避難）が最も大切です！
- ・該当区域でない親戚や近隣のお宅などへの避難。または、未決定なら当日開設されている風水害時の避難場所（青森市役所、地元自治会館、市民センター、第六中学校等）へ避難！
- ・ご近所 ①避難時は隣近所で声を掛け合ひましょう！（安否確認、避難の検討に有効）
②避難行動要支援者（ご高齢のひとり暮らしの方など）へ声を掛け合ひましょう！

避難場所

自宅に居る場合を考えて、大きな文字でこの枠内へ風水害時に避難する場所を書きましょう！
☆防災行政無線が聞き取れなかったら→電話0800-800-0062（無料）で確認！



1500Wコンセント

電気は400Wの使用で4.5日使用可

- ・車外への給電がしやすい車もある
- ・メンテナンス不要なのがいい
- ・常にガソリンは半分以上に

なぜ、地域活動・まちづくりに？

小曾木っ子まつり
子どもから高齢の方まで幸せを感じられる地域に！



なぜ、地域活動・まちづくりに？

小曾木っ子まつり
子どもから高齢の方まで幸せを感じられる地域に！



なぜ、地域活動・まちづくりに？

小曾木っ子おもちつき
横田基地の子どもも一緒に楽しむ行事に！



なぜ、地域活動・まちづくりに？



おそきDE田植え体験
青梅以外の方におそきを紹介する行事として実施



ドイツの方にも参加いただきました！



なぜ、地域活動・まちづくりに？

おそきDE田んぼの手入れ体験
青梅以外の方におそきを紹介する行事として実施



なぜ、地域活動・まちづくりに？



おそきDE稲刈り体験 青梅以外の方におそきを紹介する行事として実施



なぜ、地域活動・まちづくりに？

おそきの学校と地域を考える会は、
地域の良さ伝え、課題の改善を進めています！

新潟県十日町市や奥多摩町の方にも講演いただきました！



青梅市の協働事業も推進委員長としてサポート

(1) おそきだより 第38号 2022年7月15日発行

おそきだより 第38号

2022. 7. 15 発行

編集：おそきの学校と地域を考える会
協力：青梅市自治会連合会第6支会 問い合わせ：小曾木市民センター TEL 0428-74-5332
このたよりは青梅市市民安全都市市民活動推進課との協働による発行です

ホームページ facebook

令和4年度 第6支会総会

令和4年度の自治会連合会第6支会（青梅市小曾木地区の自治会連合会）総会が4月19日（火）に小曾木市民センターで開催されました。

令和4年度 第6支会定例総会

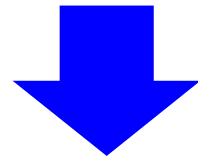
加藤支会長 石川センター長
中野副支会長 高田副支会長

【令和4年度 第6支会総会】

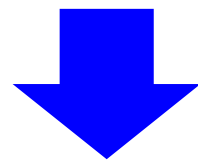
小曾木地区防災訓練

小曾木地区の舊の防災訓練が3月6日（日）に小曾木市民センター会議室にて行われました。今回の内容は「青梅市の防災対策について」をテーマとした自主防災組織連絡会役員対象の講演が実施されました。講師は青梅市防災課中村達也危機管理係長。地域で想定される「災害」と「被災」のためにできることを小曾木地区と他の地域での実例を交えて具体的に講演いただきました。当日は、避難所で感染症対応するテントや段ボールベッドなど、また、新たに防災用品を収納するためグラウンドに設置された防災倉庫も紹介されました。

**このような地域活動の中の一部を応募で伝え、
聖火ランナーに選出いただきました！**



**そして今回、この機会をいただき、私と地域の
レガシーとして東京2020大会聖火ランナーの
活動をまとめることができました。**



次世代につなぐバトンとしては

もう始まっている次世代のまちづくり！ 共助・協働、頼り・頼られ、幸せな地域に！

富岡地区乙黒耕地に堰普請（せきぶしん）
新規就農者が作業支援、農地利用調整



もう始まっている次世代のまちづくり！

共助・協働、頼り・頼られ、幸せな地域に！



移住若者とのバーベキュー交流会



考える会 クリスマスマーケットへの出店



新規就農者の販売支援・購入支援



数年前の豪雪時の地域協力での除雪

ありがとうございました！

**今のままでは次世代に幸せのバトンは
渡しきれません。**

**でも、きっと、私たちならできます。
ぜひ、一緒に次世代へのバトンをつないでいきましょう！！**

東京2020オリンピック・パラリンピック1周年記念事業



東京2020大会レガシーから 共生のまちづくりを考える ～次世代につなぐ東京2020大会のバトン～



【登壇者】

- ◎若杉 遥(ゴールボール女子東京2020大会銅メダリスト)
- ◎若林 良弘(東京2020大会聖火リレーランナー)
- ◎森 清剛(青梅市職員・元オリンピック・パラリンピック担当)
- ファシリテーター:萩元 直樹(サステナブルタウン代表・元東京2020組織委員会)

グラフィック

レコーディング

REPORT

東京2020オリンピック・パラリンピック1周年記念事業



東京2020大会レガシーから 共生のまちづくりを考える ～次世代につなぐ東京2020大会のバトン～



【登壇者】

- ◎若杉 遥(ゴールボール女子東京2020大会銅メダリスト)
- ◎若林 良弘(東京2020大会聖火リレーランナー)
- ◎森 清剛(青梅市職員・元オリンピック・パラリンピック担当)
- ファシリテーター:萩元 直樹(サステナブルタウン代表・元東京2020組織委員会)

まとめ

～共生のまちづくりのために～